

特 展
別 示

ピーター・ミラー

白石ちえこ



白石ちえこ Niigata 2016 Gelatin silver print+zokingake

2016 10/18(火)-10/30(日) 9:00-21:00
月曜休館 観覧無料



ピーター・ミラー Network-1 2013 Photogravure

写真銅版画。
ぞうきんがけ。
どちらも写真技術の誕生後のある一時期に行われ、長くかえりみられなくなっていた技法です。
ピーター・ミラーと白石ちえこは、この忘れられた技法を現代によみがえらせ、自らの表現技法とする作家です。
素描や版画を含む「絵画」と、「写真」の境界が、まだあいまいだった時代を経て、独自の表現を歩みはじめた写真が、ふたたび写真以外の表現から、力を得て、確定されたかに見える境界を広げ、ぼかし、新しいあいまいへゆり返すように見えるふたりの作品を紹介します。

ギャラリートーク
10月23日 14時〜15時半
ピーター・ミラー+白石ちえこ
聞き手 大倉宏(砂丘館館長)
詳細は裏面

砂丘館

旧日本銀行新潟支店長役宅

特別展示 ピーター・ミラー 白石ちえこ
 2016 10/18(火) - 10/30(日) 9:00-21:00
 月曜休館 観覧無料
 主催:砂丘館

ピーター・ミラーと白石ちえこの仕事を、去年、相前後して識った。

2人展を思いついたのは、印象が、私の中で身を寄せ合っただけからであり、相似形ながら違う世界の、合わせ鏡に挟まれる心地に、好奇心をかきたてられたからでもある。

写真銅版画(ミラー)も、ぞうきんがけ(白石)も、撮影した画像を一枚の紙に移すところで、かたや版画のプロセス、かたや印画紙に絵の具を塗り擦る、と手の「作業」がぞんぶんに加わる。どちらも一昔、あるいはそれ以上前に行われた技法だ。コンピュータによる画像処理と、これらの「作業」の違いは、インク、絵の具、紙というモノの次元が大きく関わっていることで、それは実際に見ると、さらに強く感じられる。

現代の超鮮明画像のまばゆい空間が、人から奪っていくもの——あいまいな感覚や感情、心の薄暮の状態。ふたりの黒い、暗い画面は、それらを不鮮明に照らしだそうとするサーチライトかも知れない。

(大倉 宏 砂丘館館長)



ピーター・ミラー Nocturne 2015 Photogravure



白石ちえこ Nagato, Yamaguchi 2016 Gelatin silver print+zokingsake

写真銅版画 (フォトグラビュール)

19世紀前半写真技法の誕生期におこなわれた技法。ゼラチンを塗布した銅板に写真フィルムを密着させて紫外線をあてると、露光部分は硬くなり、耐酸性となり腐蝕されず、連続した微妙な階調を忠実に刷る事が可能となる。ピーター・ミラーは日本の風景を、水墨画の繊細さで表現するため、この技法を独自に復元し、自らの工夫を加えて制作している。

ぞうきんがけ (雑巾がけ)

20世紀初頭に日本で行われた技法。写真を焼き付けた印画紙にオイルを塗り、その上に油絵の具を塗り、ふき取っていきながら調子を整える。もともとはピクリアリズム(絵画のような写真を作ろうとする)の写真家らが用いたものだが、白石ちえこは彼女自身の興味でこの技法を使い、現代の新しい写真表現の方向を生み出した。

ギャラリートーク

10月23日(日) 14時~15時半

ピーター・ミラー + 白石ちえこ

聞き手 大倉宏(砂丘館館長) 参加料 500円 予約不要・直接会場へ

同時期開催

ピーター・ミラー 白石ちえこ

10/22-30 11:00-18:00 (最終日-17:00)

新潟絵屋 新潟市中央区上大川前通 10-1864

tel.fax.025-222-6888

info@niigata-eya.jp http://niigata-eya.jp

ピーター・ミラー (Peter Miller)

アメリカ、ペンシルバニア州フィラデルフィア生まれ。米国、東京で経営コンサルタントの仕事に携わり、1991年に美術家に転身。写真銅版画制作に専心するため、鎌倉に拠点を移し、浄明寺にアトリエ「鎌倉版画コレクション」を構える。

白石ちえこ (しらいし ちえこ)

神奈川県生まれ。アジアを巡る旅の中で写真を撮りはじめ、千葉県船橋市主催のワークショップで暗室を学ぶ。写真集に『サボテンとつぼ』(冬青社)、『島影』(蒼穹舎)、共著に『海に沈んだ町』(小説・三崎亜記/朝日文庫)がある。

砂丘館

旧日本銀行新潟支店長役宅

〒951-8104 新潟市中央区西大畑町5218-1

tel./fax.025-222-2676

sakyukan@bz03.plala.or.jp

指定管理者:新潟絵屋・新潟ビルサービス特定共同企業体



- 会場には駐車場がありません。また、周辺の道路は駐車禁止です。公共交通機関をご利用下さい。
- 新潟駅からのバス:浜浦町線 C2系統又は観光循環バス「西大畑坂上」バス停下車徒歩1分
 - 新潟市西堀地下駐車場をご利用の方は、駐車券掲示にて1時間分の無料券を差し上げます。

私たちは砂丘館の自主事業を応援しています。

あられ株式会社

NSGグループ

株式会社ナレッジライフ

新潟ビルサービス

丸屋本店

藤田金属

郷土の文化に親しむ会